



名誉市民に伊藤喜美氏

12月3日の第4回市議会定例会において、伊藤喜美氏（株式会社バロー相談役名誉会長）を名誉市民に選定することが決議されました。合併後の恵那市では名誉市民第1号となります。伊藤氏は株式会社バローの店を創設し、時代を見据えた経営手腕で現在の株式会社バローへと成長させました。伊藤氏の功績を紹介し、インタビューで名誉市民になった感想、青少年育成に対する思いなどを伺いました。

功績

昭和36年、恵那市商工会理事に就任、昭和38年2月、商工会議所設立発起人として会員への説明に奔走し、昭和40年1月、恵那商工会議所設立に寄与されました。これにより当地域の有力な総合経済団体となりました。

平成7年4月1日には恵那商工会議所会頭に就任され、会員の加入、役員増員など、積極的な事業活動、会員の福利厚生の実現を図り、組織と財政基盤確立に努め、地域においてもそのリーダーシップを発揮し、地域経済の発展に大きく貢献されました。

伊藤氏は事業の傍ら、青少年の育成と国際交流にも力を注いでこられました。平成4年には国際交流協会会長に就き、平成6年度から青少年の海外派遣研

修事業を実施し、毎年20人の中学生をオーストラリアオースキーに派遣しています。将来を担う青少年の海外派遣活動を通じて、国際交流および青少年育成に大きく寄与されています。

また平成19年7月1日に鉄筋コンクリート造り2階建て、延べ床面積2652平方メートル、総工費9億5千万円の図書館と、蔵書2万3千冊を市に寄贈されました。このことにより、蔵書約14万冊の図書館として、より快適な読書環境を提供できるようになり、多くの市民に読書、研究・学習の機会を与えています。

市中央図書館は、知識と創造、文化や情報の交流拠点となり、これから将来を担う乳幼児から高齢者までのすべての市民を育てる重要な施設となっています。

インタビュー

名誉市民について

本当に全く思いがけないことで、驚きました。今でも信じられないことです。

今までのどの賞よりも感激しましたし、感謝しています。

私が子どものころ、今の恵那駅前の中央通りでよくキャッチボールをして遊びました。生まれ育った恵那市には愛着があり、ふるさとに貢献できたことは、とてもうれしいです。恵那市に生まれて本当に良かったと感じています。

図書館について

私の青春時代は戦争中で、本を読みたくてもなかなか読むことができない状況でした。私は、本来誰でも本に触れることができる環境が必要だと考えてきました。

現在の日本の社会の乱れは、教養の無さが原因の一つのように感じています。

今の青少年には、読書を通して教養を高め、人間形成をしてほしいと願っています。

中央図書館が、小さな乳幼児

伊藤喜美氏

このころから絵本に触れることができ、生涯を通じて図書館を利用してもらえような、市民にとって身近で親しみのある図書館であってほしいと願っています。そして恵那市の知的文化都市への一助になってくれればと思っています。

青少年の国際感覚

日本人は、外国文化に接する機会が少なく国際感覚に乏しいと感じています。

これからの若者は、国際的な視野で物事を考えられる人間に成長してほしいと思います。

世界の人々や文化に積極的に触れてほしいのです。世界のこの日本を考えることで、ふるさとの文化の良さも見えてくるのだと思います。

若い世代へのメッセージ

「少年よ大志を抱け」クラーク博士の言葉があります。私も若者には志を高く持ってほしいと思います。

その上で正直な人間であり、恥を知る人間になってほしいと思います。



略歴	年月	内容
昭和19年	9月	法政大学法学部政経学科卒業
昭和41年	6月	恵那社会福祉事業協力会会長
昭和47年	4月	恵那市消防団団長
平成4年	1月	恵那市国際交流協会会長
平成7年	4月	恵那商工会議所会頭
平成12年	1月	財団法人伊藤青少年育成奨学会理事長（現任）
平成16年	11月	恵那商工会議所名誉会頭（現任）
平成17年	4月	社団法人岐阜県経済同友会相談役（現任）
平成19年	5月	社団法人中部経済連合会常任理事（現任）

表彰歴	年月	内容
昭和51年	3月	日本消防協会会長表彰受賞（消防活動功績）
昭和54年	8月	紺綬褒章受章（教育施設資金寄付功績）
昭和55年	10月	労働大臣表彰受賞（勤労統計調査事業功労）
昭和61年	11月	藍綬褒章受章（産業振興功績）
昭和63年	10月	通産大臣表彰受賞（商業統計調査功労）
平成6年	11月	国税庁長官表彰受賞（申告納税功績）
平成8年	11月	大蔵大臣表彰受賞（納税功労）
平成11年	9月	日本商工会議所会頭表彰受賞（特別功労）